



経済学  
教授  
ひらの よし たか  
平野 嘉孝  
(1965生)  
経済学修士  
(京都大学・平4)

■経 歴

滋賀大学経済学部経済学科卒 (平 2.3) / 京都大学大学院経済学研究科理論経済学専攻修士課程修了 (平 4.3) / 同博士後期課程学修認定退学 (平 8.3) / 光華女子短期大学非常勤講師 (平 7.10 ~ 8.3) / 近畿大学医学部教養課程非常勤講師 (平 8.4 ~ 10.3) / 日本学術振興会特別研究員 (京都大学 P.D.) (平 8.1 ~ 10.3) / 富山県立大学工学部講師 (平 10.4 ~ 18.3) / 富山県立大学工学部助教授 (平 18.4 ~ 19.3) / 同大学准教授 (平 19.4 ~ 令 3.3 学校教育法改正による職名変更) / 同大学教授 (令 3.4 ~)

担当科目 経済学 I / 経済学 II / 環境論 2 / 教養ゼミ / トピックゼミ / 技術経営論 I (院)

専門分野 理論経済学 / 経済学説史

論文・報告  
「正常価格体系と稼働率」(経済論叢 (京都大学) 1994 年)  
「正常価格理論と内包的地代」(経済論叢 (京都大学) 1998 年)  
「技術変化と失業」(富山県立大学紀要 1999 年)  
「[資本]と自己補填的構造」(彦根論叢 (滋賀大学) 2005 年)  
「技術変化と労働雇用」(科学研究費研究成果報告書 17530148 2007 年)  
「Sinha Ajit: Theories of Value from Adam Smith to Piero Sraffa, Routledge, 2010, xii+364pp.」経済学史研究 (経済学史学会年報、2012 年)  
「スラッフアの存続可能性概念について」(経済科学 (名古屋大学) 2020 年)

著 書  
「経済システムの自己増殖」吉田和男編著『複雑系経済学へのアプローチ』東洋経済新報社、第 5 章、2002 年。  
「構造から動態へ」同上書、第 6 章、2002 年。  
“Application of Normal Prices to Trade Analysis : National Self-Sufficiency and Factors of Competition”, in Y. Shiozawa, et al. (eds.), A New Construction of Ricardian Theory of International Values, pp.175-188, Springer, 2017.  
「[古典]的パラダイムにおける価格理論の意義とその分析射程」長尾伸一・平野嘉孝ほか編著『現代経済学史の射程』ミネルヴァ書房、第 11 章、2019 年。

所属学会 経済学史学会 / 進化経済学会

学会委員等 経済学史学会関西部会幹事

現在の研究課題

経済の再生産構造に着目し、マクロ価格の体系を定式化したものとしてスラッフアの価格理論 (正常価格理論) がある。ここでは、人間行動に特定の仮説をおかない。この価格理論の有効性および限定性を明確にするために、研究を行っている。